

松徳 憲二 議員



一括質問方式

- ①八幡浜・大洲地区運動公園園陸上競技場の復旧
- ②学校施設へのエアコン設置
- ③新谷地区の治水対策・災害復旧

八幡浜・大洲地区運動公園園陸上競技場の復旧について

問

八幡浜・大洲地区運動公園の陸上競技場は、災害廃棄物を仮置きした場所の復旧だけでもかなりの経費と時間を要するものと思ってい

答

陸上競技場は、建設後40年以上が経過し老朽化が進んでいるこ

とや、利便性を考慮しインフィードの人工芝化やトラック部分の全天候化、メインスタンドの改修等の検討を平成27年度から進めています。その中で、当施設を所有する広域市町村圏組合の構成市町と協議を重ねているところです。

今後も施設の老朽化対策には、施設の利用状況や必要性を見据えた上で、構成市町のご理解が得られる計画を立案し協議を重ねるとともに補助事業など有利な財源の確保に努め、事業化に向けて検討していきたくと考えています。

本市は今後5年間、復旧・復興に向けた諸施策を実施していく中で財政状況もかなり厳しくなってきました。現時点では、多くの市民の皆様にも一日も早く陸上競技場をご利用いただけるよう原状復旧に努めていきます。

学校施設へのエアコン設置について

問

学校のエアコン設置は、国の補助制度が創設されたことで結果

的に計画を2、3年程度早めることとなったが、着工が早まったことで

何か影響が生じるのか。

例えば、現在、災害復旧工事で業者も多くの現場を抱えており、施工業者の確保も心配されるところだが、こういったことも含め想定される影響をお伺いする。

答

エアコン設置工事等が早まることへの影響については、災害復旧工事で現在、業者の方も多くの現場を抱えている状況ですが、エアコン設置工事の発注時期は実施設計が完了する来年度夏ごろを予定していますので、災害復旧による影響は少なくなっているものと考えています。

新谷地区の治水対策・災害復旧について

問

今回の豪雨災害により、矢落川上流の喜多山付近では、増水による県道への越流によってアスファルトがめくれ上がったリ、田畑への冠水、また、新谷・柳沢・田処の間地域では、道路や山の斜面の崩壊など災害による影響は各地域にさまざまな爪跡を残し、いまだ復旧して

いない箇所も多数ある。山間地域の道路や斜面の崩壊については、どのようなスケジュールで

復旧に取り組んでいくのか。

答

道路災害の復旧スケジュールは、復旧工法等の審査を受けるための災害査定が8月27日の週から平成31年1月21日の週まで8回に分けて実施されており、順次申請を行ってまいります。

県道については、7月豪雨で被災した箇所は全て災害査定が完了し、現在、発注の準備を進めていると聞いています。

復旧時期については、災害査定後、順次発注準備に取りかかりますが、災害箇所も多く対応できる技術職員も限られており、また、請負業者の確保といった課題等もあります。柳沢・新谷地域の市道の復旧は平成31年度中には完成できるものと考えております。

山地災害の復旧については、11月末現在で愛媛県が市内9カ所を治山事業で対応される計画となっており、本年度から3カ年に分けて発注される予定と伺っていますが、柳沢・新谷地域においては2カ所あり、平成31年度から工事が行われる計画となっています。